

## 流通における環境問題とその対応

○石久保鈴子 小林 恵（東京家政大）

目的 近年、大量生産、大量消費時代に出現した多種多様な環境汚染、即ち地球温暖化の原因とされるCO<sub>2</sub>の増加、有害化学物質ダイオキシンの発生、廃棄物処理、リサイクルの問題など様々な環境問題が取り上げられ、各分野において検討研究されて来ている。又、ISO14001を取得する企業も増加し、環境問題への取り組みが生産・流通など各方面でなされている。しかし、小売業（大量販店、コンビニエンスストア等）では、配送時におけるCO<sub>2</sub>の排出やペットボトルや牛乳パックの店頭回収など問題解決すべき項目は非常に多い。本研究では、主として大量販店やコンビニエンスストアに関わる部門の環境問題の現状及びそれらの取り組みについて、調査分析し今後の課題についても検討した。

方法 流通関連企業の環境報告書、インターネットの企業及び団体等のホームページより得られた情報及び資料を供試料とし、日常生活における今日の環境問題の現状把握及び大量販店、コンビニエンスストア業界における環境問題への取り組みについて分析した。

結果 小売業では環境問題であるトラック配送時によるCO<sub>2</sub>の増加に対して、各企業とも共同配送による回数の削減、低公害車の導入などの取り組みをした結果、CO<sub>2</sub>年間排出量が1998年度（1990年度比）45.2%削減し、又折り畳み式通い箱やハンガー納品などにより再使用やリサイクル率が増加し、廃棄物年間排出量が1997年度より440t削減された。